

自転車に乗って市の魅力を発信 丹波サイクリング協会



自転車がつなぐ人と人 キーワードは「つながる」

自転車で市内を巡るイベントを実施しようと、自転車好きの7人が集まり、昨年2月に設立された「丹波サイクリング協会」。サイクリングマップの作成や自転車ツアーの企画などを行い、市内外の自転車愛好家に市の魅力を発信しています。代表の松井崇好さんに、活動について話を聞きました。

☎☒ tambacycle@gmail.com



自転車好きが集まり協会を設立

自転車で丹波市を巡るイベントを実施したいと、市内の自転車好きが集まって「丹波サイクリング協会」を設立しました。丹波市には有名な絶景はありませんが、信号が比較的少なく、道が整備され、自転車で快適に走ることが出来ます。

また、ちーたんの館や丹波布など地域ごとに見どころがあり、人の温かさや、季節感がはつきり感じられるところも魅力です。自転車で丹波を巡る楽しさを多くの人に体感してほしいと考えていました。

環境を整えてイベントを実施

イベントを実施して人を呼ぶ前に、まずは自転車に乗る人に優しい環境を整えたいと思いました。そのため、ロードバイク（自転車）を駐車するために立てかける「サイクルラック」や地図におすすめの名所を書き加えた「サイクリングマップ」を作成し、道の駅や観光案内所などに設置しました。

そして、年4回ほど桜や紅葉などの名所を自転車で巡る「アテンドライド」や、100kmの距離を旬のおいしいものを味わい、地域の人と交流しながら走行する「ツール・ド・

丹波」というイベントも行いました。参加者の9割が市外の人で、「普段通過していた丹波に初めて来るきっかけになった」という意見を聞いたときは嬉しかったです。

地域と関わる楽しさを実感

サイクリングイベントで、地域に古くから伝わる太鼓の演奏を聞かせてもらう機会がありました。その際、地域の人が「太鼓を披露する機会が増えて地域に活気が出る」と、とても喜ばれたことがありました。自転車で走るだけでなく、地域の人と交流することの楽しさ、大切さを実感した瞬間でした。

つながりを広げていきたい

今後は、初心者向けの距離の短い「ツール・ド・丹波」や、サイクリングマップのスマートフォンアプリを使って、市の名所の写真を撮影してもらうなど、新たな企画を考えています。

ただ自転車で勝手に走るだけでなく、地域の人と一緒に何かできたら活動はもっと面白くなると思います。自転車で、地域と市外の人両方のつながりを広げていきたいですね。